

鹿児島高専で得たもの

平成 24 年度 電気電子工学科 5 年 中瀬 裕貴

鹿児島高専に入学し、もうすぐ卒業を迎えます。振り返るといろいろなことがありましたが、私は特に部活に力をいれてきました。私はサッカー部に所属し、部活に励んできました。サッカー部ではいろいろなことを学びました。サッカー部では全国高専大会優勝を目指し、日々の練習に取り組んでいます。入部当初は練習のきつさ、厳しさに驚きましたが、先輩、後輩、同学年の仲間に恵まれ、5 年間続けることができました。その中で精神的にも体力的にも大きく成長することができ、サッカーだけでなく挨拶や上下関係、時間を守ることなど、人として大切なことを学ぶこともできました。

1 年の頃はグラウンド整備や道具の準備・片づけ、ボール拾いなどの雑用を経験し、大変でしたが同学年の仲間が多くいたので、きつくても楽しい毎日でした。その中で仲間がいることできついことも乗り切ることができることや裏方の仕事の大切さを学びました。私は 5 年間で 2 回の全国高専大会優勝を経験することができました。厳しい練習を乗り越えて優勝したことにより、とても大きな感動を味わうことができました。このような経験はこれから先、なかなか経験できないのではないかと思います。

私は 2 年生の頃から、高専卒業後の進路として大学へ編入することを目標としてきました。日々の練習で疲れているながらも、宿題や実験レポートを効率的に終わらせ、部活と勉強を両立し、成績で上位を維持できるよう努力しました。その結果、大学進学という目標を達することができました。これは進学という目標があったから出来たことで、目標を持つことはとても大切だと思います。

また寮生活を通して洗濯や身の回りの整理など、それまでは親に任せていたことも自分でできるようになり、大きく成長することができました。友達と寝食を共にしたり、夜遅くまで遊んだり、語り合ったのもいい思い出です。

私はこれら以外にも、ここには書ききれないくらい多くのことを鹿児島高専で得ることができました。5 年間お世話になった先生方や友人、先輩、後輩そして両親には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れることなく、これからの人生で、鹿児島高専で得たものを最大限に生かしていきたいと思っています。